

# 教育内容に関するアンケート調査 結果報告 (大学)

令和5年3月13日  
教学支援センター

## 1 調査目的

在学中に身に着けさせる学力や資質・能力及び養成しようとする人材像に照らして、卒業生が、本学の教育内容等についてどのように評価しているのか等の調査を行い、結果を本学の教育改革にフィードバックすることにより、更なる改善に資する。

## 2 調査期間

令和4年11月

## 3 調査対象

卒業生(令和2年3月卒業生)

## 4 調査方法

Google フォームによる回答 (無記名式)

## 5 回収率

大学教育内容アンケート調査の配布数と回収率

看護	子ども	音楽	合計	宛名不明	回答数	(回答率)
108	82	29	219	21	21	10.6%

## 6 アンケート調査結果

### A あなた自身について伺います

#### (1) 卒業時の所属学部・学科

- ① 看護学部 看護学科 6人
- ② 学芸学部 子ども学科 9人
- ③ 学芸学部 音楽学科 6人

#### (2) 性別

- ①男性 3人 ②女性 18人

#### (3) 現在の勤務先の業種

- ① 教育・学習支援業 6人 ② 医療・福祉 5人
- ③ 卸売業・小売業 0人 ④ 金融業・保険業 0人
- ⑤ 建設業・不動産業 0人 ⑥ サービス業 2人
- ⑦ 製造業 0人 ⑧ 農業・漁業・林業 0人
- ⑨ 公務員 5人 ⑩ 無職・その他(アルバイト等) 3人

### B 本学の教育内容について伺います

#### (1) 本学での授業や活動を通して、どのような力が身につきましたかお尋ねします

- 1-1 幅広い教養が身についた
- 1-2 専門的知識とその応用力が身についた
- 1-3 積極性・チャレンジ精神が身についた

- 1-4 豊かな人間性が育まれた
- 1-5 生涯にわたって学び続ける能力が身についた
- 1-6 柔軟な発想や豊かな創造力・構想力が身についた
- 1-7 問題を発見し、解決する能力が身についた
- 1-8 コミュニケーション能力が身についた
- 1-9 プレゼンテーション能力が身についた
- 1-10 組織や集団をまとめる統率力・リーダーシップ能力が身についた
- 1-11 実践に役立つ資格・検定が取得できた

(2) 本学は次のようなことを教育の特徴としていますが、これらが卒業後に役立っていますかお尋ねします

- 2-1 専門的知識・技術の修得
- 2-2 対人援助力の養成
- 2-3 幅広い教養教育の実践
- 2-4 実習等に基づく実践的な教育
- 2-5 汎用的能力の養成
- 2-6 コミュニケーション能力の涵養
- 2-7 きめ細やかな指導体制
- 2-8 自由な校風
- 2-9 個性を伸ばす教育
- 2-10 実社会で通用する知識・技術の養成

### C 就職・キャリア支援について伺います

(1) 在学中に学んだことや経験したことが、就職後に役立っていると思う事は何ですか

- ①専門的知識及び技能
- ②各種免許状及び資格・検定取得等
- ③社会人としての基本的マナー
- ④コミュニケーション能力
- ⑤幅広い教養
- ⑥プレゼンテーション能力
- ⑦問題解決能力
- ⑧積極性・チャレンジ精神
- ⑨語学力(外国語含む)
- ⑩情報処理関係技術
- ⑪アクティブ・ラーニング
- ⑫読書
- ⑬ボランティア活動
- ⑭サークル活動
- ⑮アルバイト
- ⑯その他( )

(2) 就職後、「在学中にもっと積極的に取り組んでおけばよかった」と思う事は何ですか

- ①専門的知識及び技能の習得
- ②各種免許状及び資格・検定の取得
- ③社会人としての基本的マナーの習得
- ④コミュニケーション能力の習得
- ⑤幅広い教養の習得
- ⑥プレゼンテーション能力の修得
- ⑦問題解決能力の習得
- ⑧積極性・チャレンジ精神の習得
- ⑨語学力(外国語含む)の修得

- ⑩情報処理関係技術の修得
- ⑪アクティブ・ラーニングの習得
- ⑫読書
- ⑬ボランティア活動
- ⑭サークル活動
- ⑮アルバイト
- ⑯その他( )

(3) 在学生に対し、自分の進路を決めるとき、在学中にやっておくとよいと思うことは何ですか

- ①早期の進路に対する準備
- ②各種免許状及び資格・検定取得等
- ③職種・業界研究
- ④インターンシップの経験
- ⑤社会人としての基本的マナーの修得
- ⑥文章能力・読解力の向上
- ⑦語学力(英語等)の向上
- ⑧積極的な企業等へのアプローチ
- ⑨就職・キャリアセンターの活用
- ⑩その他( )

(4) 日常、仕事をする上で職務上の難しさや大変さを感じることは何ですか  
どんなことでも結構です。ご自由にお書きください。(自由記述)

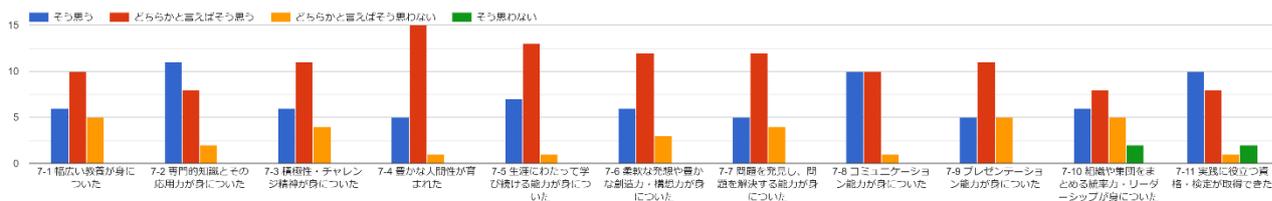
## 7 調査結果

集計数 21 (男性:3 女性:18)

### B 本学の教育内容について伺います

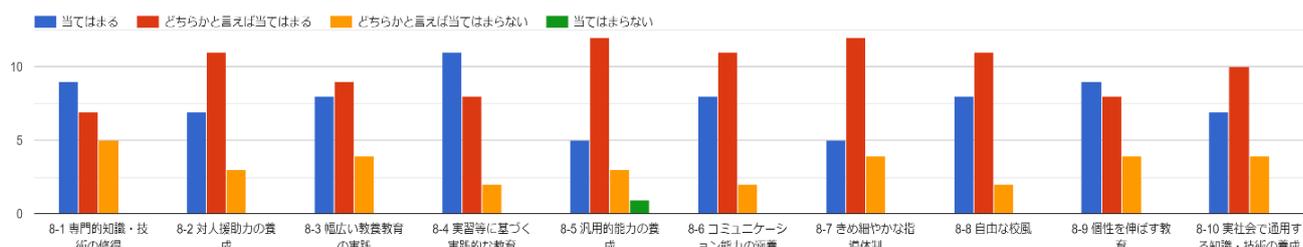
(1) 本学での授業や活動を通して、どのような力が身につきましたかお尋ねします

- 1-1 幅広い教養が身についた
- 1-2 専門的知識とその応用力が身についた
- 1-3 積極性・チャレンジ精神が身についた
- 1-4 豊かな人間性が育まれた
- 1-5 生涯にわたって学び続ける能力が身についた
- 1-6 柔軟な発想や豊かな創造力・構想力が身についた
- 1-7 問題を発見し、解決する能力が身についた
- 1-8 コミュニケーション能力が身についた
- 1-9 プレゼンテーション能力が身についた
- 1-10 組織や集団をまとめる統率力・リーダーシップ能力が身についた
- 1-11 実践に役立つ資格・検定が取得できた



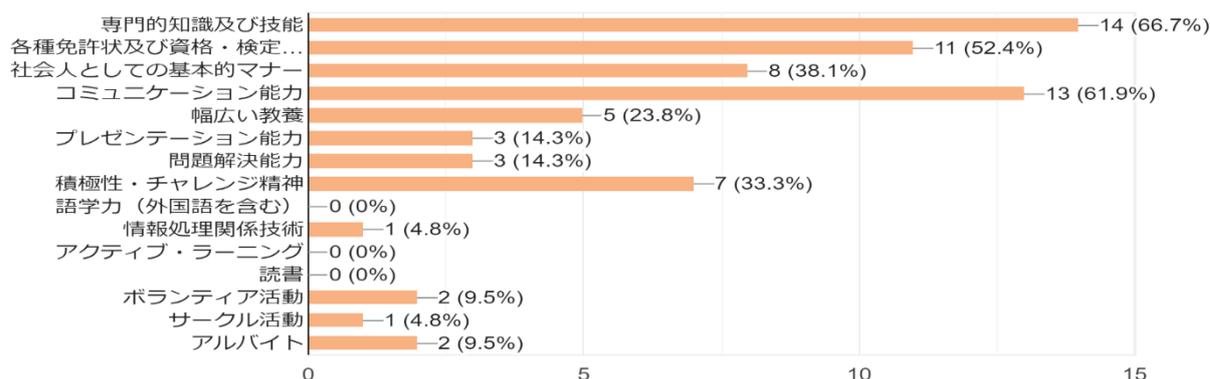
(2) 本学は次のようなことを教育の特徴としていますが、これらが卒業後に役立っていますかお尋ねします

- 2-1 専門的知識・技術の修得
- 2-2 対人援助力の養成
- 2-3 幅広い教養教育の実践
- 2-4 実習等に基づく実践的な教育
- 2-5 汎用的能力の養成
- 2-6 コミュニケーション能力の涵養
- 2-7 きめ細やかな指導体制
- 2-8 自由な校風
- 2-9 個性を伸ばす教育
- 2-10 実社会で通用する知識・技術の養成

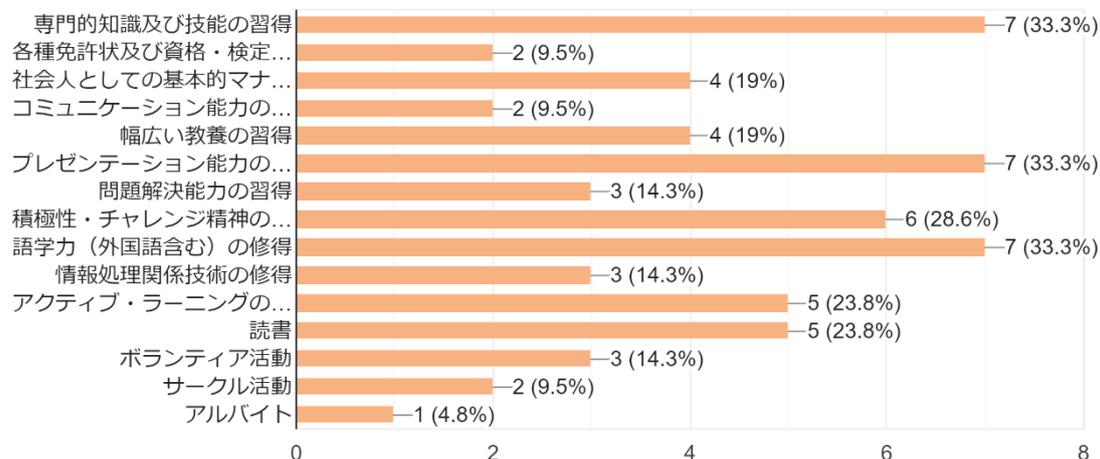


### C 就職・キャリア支援について伺います

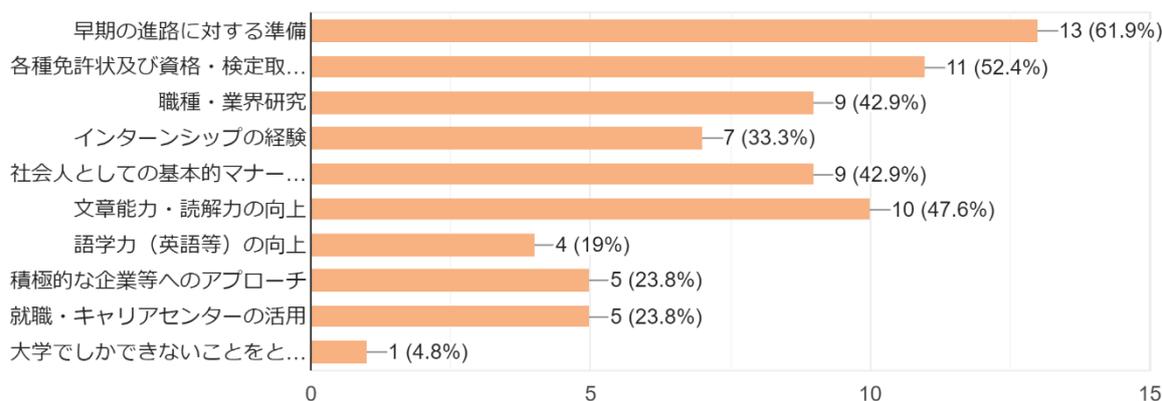
(1) 在学中に学んだことや経験したことが、就職後に役立っていると思う事は何ですか



(2) 就職後、「在学中にもっと積極的に取り組んでおけばよかった」と思う事は何ですか



(3) 在学生に対し、自分の進路を決めるとき、在学中にやっておくとよいと思うことは何ですか



## 8 結果と分析

看護学科	<p>本学での学びや本学の教育の特徴については、ほとんどの卒業生が、「力が身に付いた」「卒業後役に立っている」と思っていた。本学の教育の対人援助、即ち看護実践に直接つながる学びを修得できた結果である。一方、5割であった、『プレゼンテーション能力が身に付いた』『組織や集団をまとめる統率力・リーダーシップが身に付いた』については、現在プロジェクト学修を行っているが、さらにチームの中で考えを発展させていく学修体験の機会を増やしていく。</p>
子ども学科	<p>「身についた力」としては「コミュニケーション能力」、「専門的知識とその応用力」、「実践に役立つ資格・検定」、「学び続ける能力」、「プレゼンテーション能力」が高得点となっており、本学科の取組により一定の成果があったものと考えられる。</p> <p>しかし、その一方で、余り身につけていないと思う力として「問題を発見し、解決する能力」、「リーダーシップ能力」、「積極性・チャレンジ精神」、本学の教育の特徴で役立っていると思っていないこととして「アクティブ・ラーニング」、「情報処理関係技術」、「語学力」、「読書」、もっと積極的に取り組んでおけばよかったこととして、「語学力」、「プレゼンテーション能力」、「専門的知識及び技能」、「情報処理関係技術」、「幅広い教養」等の項目が挙げられている。</p> <p>今後、こうしたニーズに応えることができるよう、人間力の向上に係る取組を継続しつつ、学力・専門力・就職力の向上に向けて、教養教育、専門教育の改善、授業力の向上により具体的に、また、スピード感をもって取り組むことが必要であると考える。</p>
音楽学科	<p>本学での授業や活動を通して身についた力については、すべての項目についてはほぼ全員が身についたと回答をしている。「プレゼンテーション能力が身に付いた」「組織や集団をまとめる統率力・リーダーシップが身に付いた」「実践に役立つ資格・検定が取得できた」「専門的知識・技術の修得」「対人援助力の養成」「幅広い教養教育の実践」「実習等に基づく実践的な教育」「汎用的能力の養成」「コミュニケーション能力の涵養」「きめ細やかな指導体制」「自由な校風」「個性を伸ばす教育」「実社会で通用する知識・技術の養成」の項目について、若干数ではあるが否定的な意見が含まれていた。</p> <p>特に下記3点に関しては昨年度から課題がある項目である、引き続き改善につとめていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●実習などに基づく実践的な教育 →実習に関わる授業内容の見直し。授業評価アンケートなど、学生からの意見を受けとめ、刷新した内容にする。</li> <li>●きめ細やかな指導体制</li> </ul>

	<p>→チューター、レッスン担当者、学生相談、と連携をする</p> <p>●自由な校風</p> <p>→カリキュラムの見直しを継続する。</p>
--	--